コール機能

機能ボタンとソフトキー

システム管理者が電話機をどのように設定したかによって、このガイドに記載されている機能の一部が 使用できない可能性があります。

次の表に、ソフトキーで使用できる機能の一部、専用機能ボタンで使用できる機能の一部、プログラム 可能な機能ボタンにシステム管理者が設定する機能の一部を示します。

機能名	専用機能ボタン	プログラム可能 な機能ボタン	ソフトキー
すべてのコール		Х	
		Х	
コールバック		Х	Х
すべてのコールの転送		Х	Х
コール パーク		Х	Х
コール パーク回線ステータス		Х	
コール ピックアップ		Х	
コール ピックアップ回線ステー		Х	
タス			
会議	X		X (会議中だけ使用 可能)
転送			Х
サイレント		Х	
グループ ピックアップ		Х	
保留	Х		
ハント グループ		Х	
インターコム		Х	
迷惑呼 ID(MCID)		Х	
ミートミー		Х	

機能名	専用機能ボタン	プログラム可能 な機能ボタン	ソフトキー
モバイル コネクト		Х	
ミュート	Х		
その他のピックアップ		Х	
プライバシー		Х	
品質レポート ツール (QRT)		Х	
リダイヤル		Х	Х
短縮ダイヤル		Х	Х
短縮ダイヤル回線ステータス		Х	
転送	Х		Х
			(転送中だけ使用 可能)

すべてのコール

すべてのコール機能を使用して、すべての電話回線のすべてのアクティブ コールのリストを表示でき ます。このリストは時系列(古い順)にソートされています。

この機能は、複数の回線を使用しているユーザや、他のユーザと回線を共有するユーザに推奨されま す。すべてのコールの特徴は次のとおりです。

- すべてのアクティブ コールが1箇所に表示され、任意の回線のコールの表示やコールとの対話が 容易に行えます。
- 受話器を持ち上げると、プライマリ回線を使用してダイヤルされるので、不注意によって共有回線 がダイヤルに使用されるのを防ぐことができます。
- オレンジ色に点滅しているセッションボタンを押すと、任意の回線で呼び出し中のコールに応答できます。コールに応答する前に、呼び出し中のコールの回線を選択する必要はありません。

システム管理者は、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいてすべてのコール ボタンを設定します。

電話機ですべてのコールを表示する

すべてのコール ボタンを押します。

電話機の全回線のアクティブ コールが、最も古いものから順にすべて表示されます。

応答

応答機能では、電話機のすべてのライン アピアランスで使用できる最も古いコールに応答できます。 これには、アラート状態の保留復帰およびパーク復帰コールも含まれます。着信コールは、保留または パーク復帰コールよりも常に優先されます。

システム管理者は、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいて応答ボタンを設定します。この機能 は、通常は複数の回線を使用するユーザ用に設定されます。

最も古いコールから応答

最も古い着信コールから順に応答するには、応答ボタンを押します。

自動応答

自動応答では、呼出音が1回鳴った後、電話機が自動的に着信コールに応答します。 システム管理者は、スピーカーフォンまたはヘッドセットで動作するように自動応答を設定します。

ヘッドセットで自動応答

ヘッドセットで自動応答がアクティブかつ設定済みで、ヘッドセットボタン ② が点灯し、ヘッド セットが接続されている場合、着信コールはヘッドセットで応答されます。その状態でない場合は、通 常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。ヘッドセットボ タンを点灯したままにしておくには、(ヘッドセットボタンの代わりに)ボタンとソフトキーを使用し てコールを発信し、終了します。システム管理者は、ヘッドセットを自動応答のデフォルトオーディ オパスとして設定する必要があります。

スピーカーフォンで自動応答

受話器を受け台に置いたまま、ヘッドセットボタン 😰 を消灯させておきます。その状態でない場合は、通常どおりコールの呼出音が鳴るので、手動でそのコールに応答する必要があります。

割り込み

割り込み機能を使用すると、共有回線のプライベート以外のコールに参加できます。そのコールを会議 に切り替え、新しい参加者を追加することもできます。

共有回線のコールに参加する

共有回線の赤い回線ボタンを押します。コールに追加されます。

コールバック

コールバックを使用すると、話し中または対応不可能な通話相手が対応可能になったときに、電話機で 音声通知および視覚的な通知を受信できます。

ソフトキーとして使用できるコールバックは、機能ボタンとしても使用できます。詳細については、シ ステム管理者にお問い合せください。

コールバック通知の設定

- 1. ビジー音または呼出音が聞こえている間に、[折返し(Callback)] ソフトキーを押します。 電話機に確認画面が表示されます。
- 2. 必要に応じて、[終了(Exit)]ソフトキーを押して確認画面を終了します。 回線が利用できるようになると、電話機から通知を受けます。
- **3.** 必要に応じて、[ダイヤル(Dial)]ソフトキーを押して再びコールを発信します。

コール監視

コール監視では、承認されたコール監視ユーザ(監視者)はコールを監視および録音できます。監視対 象コールには、発信側、監視者、着信側の少なくとも3つの当事者が存在します。承認された監視者で あるかどうかを確認するには、システム管理者にお問い合せください。

監視者はコールへの応答、会議コールの作成、会議コールの継続によるコールの監視と録音を行いま す。コール監視機能が設定されている Cisco Unified IP Phone には録音ボタンもあります。

監視者が電話を切ると、会議全体が終了します。

コールを監視している場合、監視者は次の作業だけを実行できます。

- コールを録音する。
- 1人の参加者を会議に参加させる。監視者は1人目の参加者だけ会議に参加させることができます。後続の参加者は、他の参加者によってのみ会議に追加できます。
- コールを終了する。

コールの監視と録音

1. 着信コールに応答する。

コールの監視および録音が必要であるとシステムが判断した場合、録音ボタン (●) が表示されます。

- 2. 会議ボタン 💽 を押して、会議コールを開始します。
- 3. 追加する通話相手の電話番号を入力し、[コール(Call)]ソフトキーを押します。
- 4. 着信側が応答した場合、会議ボタンまたは[会議(Conference)]ソフトキーを押します。 会議が開始されます。
- 5. 録音ボタンを押して会議コールを録音します。録音ボタン **〇**の表示が変わり、コールの録音中 であることを示します。

または、会議コールが確立する前にコールの録音を開始することもできます。この場合、着信コー ルに応答した後に会議ボタンを押します。コールは自動的に保留にされ、会議コールを設定してい る間、録音は停止します。会議コールが確立されると、録音は自動的に再開されます。

6. [終了(End Call)] ソフトキーを押して、監視コールを終了します。すべての当事者のコールが切 断されます。

すべてのコールの転送

すべてのコールの転送を使用すると、電話機の回線上のコールを別の番号に転送できます。

任意の回線について、電話機で直接すべてのコールの転送を設定できます。すべてのコールの転送をリ モートで設定するには、[ユーザオプション(User Options)] Web ページに移動します。

システム管理者が電話機に設定できるコール転送機能には、次の2種類があります。

- 無条件のコール転送(すべてのコールの転送):受信したすべてのコールに適用されます。
- 条件付きのコール転送(無応答時転送、話中転送、カバレッジなし時転送):条件に応じて、受信した特定のコールに適用されます。[ユーザオプション(User Options)] Web ページからしかアクセスできません。

電話機からコールを転送する場合の留意事項は、次のとおりです。

- 転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、 必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- コール転送は、電話回線ごとに設定します。コール転送が有効でない回線にコールがかかってきた 場合、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、次のようなその他のコール転送オプションを設定できます。
 - 転送先番号から自分の電話機へコールが発信された場合に、コールを転送するのではなく、呼 出音を鳴らす。
 - コール転送ループが生じたり、コール転送チェーンで最大リンク数を超えたりしないようにする。

関連項目

「回線ごとにコール転送を設定する」(P.101)

電話機でのコール転送

- **1.** コールを転送するアイドル回線で、「不在転送(Forward All)]ソフトキーを押します。
- 電話番号を入力するか、通話履歴リストからエントリを選択します (ボイスメール システムの設定 によっては、メッセージボタン
 を押して、すべてのコールをボイスメールに転送できます)。 コールの転送先電話番号を確認する視覚的な通知が数秒間表示されます。
- 3. コールが転送されたことを確認するには、次の項目を調べます。
 - 回線ラベルの不在転送アイコン 📡
 - ヘッダーの転送情報
- コール転送をキャンセルするには、[転送オフ (Forward Off)] ソフトキーを押します。
 条件付きのコール転送を設定するには、[ユーザ オプション (User Options)] Web ページに移動します。

コール パーク

コールパーク機能では、電話機を使用してコールをパーク(一時保存)し、そのコールを別の電話機 (たとえば、同僚のデスクや会議室の電話機など)から取得できます。

コールをパークするには、次の2つの方法があります。

- パーク:電話機で応答したアクティブコールをパークし、Cisco Unified Communications Manager システム内の他の電話機を使用して、そのコールを取得できます。
- ダイレクト コール パーク:次の2つの方法でアクティブ コールをパークおよび取得できます。
 - 処理されたダイレクト コール パーク:システム管理者が短縮ダイヤル回線として設定した機能ボタンを押して、アクティブ コールをパークできます。
 このタイプのダイレクト コールでは、回線ステータス インジケータを使用して、回線のステータス(使用中、アイドル、またはサイレント)を監視できます。
 - 手動ダイレクト コール パーク:システム管理者が設定したダイレクト コール番号にアクティブ コールを転送して、そのアクティブ コールをパークできます。

パーク取得用のプレフィックス番号(システム管理者から取得)をダイヤルしてから、コール パーク用のダイレクト コール番号をダイヤルして、別の電話機でコールを取得します。

システム管理者は、電話機にダイレクト コール パークまたはパーク機能のいずれかを設定します。両 方は設定できません。

関連項目

「回線ステータス」(P.88)

パークを使用したコールのパークおよび取得

- コール中に[パーク(Park)]ソフトキーまたはボタンを押してから、電話を切ります。
 システムがコールをパークした番号が電話機に表示されます。パークされたコールは保留されています。[復帰(Resume)]ソフトキーを押すと、電話機でそのコールを再開できます。
- コールを取得するには、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone から、コールがパークされ た番号を入力します。

(システム管理者が設定した)所定の時間内にコールを取得できない場合は、アラートトーンが聞こえます。この場合、次の操作を実行できます。

- 「応答(Answer)]ソフトキーを押し、電話機でコールに応答する。
- 別の電話機からコールを取得する。

所定の時間内にコールの取得またはコールへの応答ができなかった場合、そのコールはボイスメー ルなどの他の接続先(システム管理者が設定)にリダイレクトされます。コールがリダイレクトさ れると、そのコールはコール パークを使用して取得できなくなります。

処理されたダイレクト コール パークを使用したコールのパー クおよび取得

- コール中に、アイドル状態の回線ステータス インジケータが表示された [ダイレクト コール パーク(Directed Call Park)] ボタンを押します。
- 2. 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。
 - a. パーク取得用プレフィックスを入力します。
 - **b.** ダイレクト コールの番号をダイヤルします。

たとえば、パーク取得用プレフィックスが「99」で、ダイレクト コールの番号が「1234」の 場合は、991234 を入力します。

(システム管理者が設定した)所定の時間内にコールを取得できない場合は、アラートトーンが聞こえます。この場合、次の操作を実行できます。

- [復帰(Resume)]ソフトキーを押し、電話機でコールを再開する。
- 別の電話機からコールを取得する。

所定の時間内にコールを取得または再開できなかった場合、そのコールは(システム管理者が設定 した)ボイスメールなどの他の接続先に送信されます。

手動ダイレクト コール パークを使用したコールのパークおよ び取得

- **1.** コール中に転送ボタン 20 を押します。
- 2. コールをパークするダイレクト コールの番号を入力します。
- 3. もう一度転送ボタンを押してコールのパークを終了してから電話を切ります。
- 4. 次の手順に従って、ネットワーク内の他の Cisco Unified IP Phone からコールを取得します。
 - a. パーク取得用プレフィックスを入力します。
 - **b.** ダイレクト コールの番号をダイヤルします。

たとえば、パーク取得用プレフィックスが「99」で、ダイレクト コールの番号が「1234」の 場合は、991234 を入力します。

(システム管理者が設定した)所定の時間内にコールを取得できない場合は、アラートトーンが聞こえます。この場合、次の操作を実行できます。

- [復帰(Resume)]ソフトキーを押し、電話機でコールを再開する。
- 別の電話機からコールを取得する。

所定の時間内にコールを取得または再開できなかった場合、そのコールは(システム管理者が設定 した)ボイスメールなどの他の接続先に送信されます。

コール ピックアップ

コール ピックアップを使用すると、同僚の電話機で呼び出し中のコールを自分の電話機にリダイレクトして、そのコールに応答できます。

コール ピックアップは、同僚とコール処理タスクを共有している場合に使用できます。

コールをピックアップするには、次の3つの方法があります。

ピックアップ:自分のコール ピックアップ グループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。

ピックアップ対象のコールが複数ある場合、電話機は最も古いコール(呼び出し中の状態が最も長 いコール)からピックアップします。

- グループ ピックアップ:次の方法で、自分のコール ピックアップ グループ外にある電話機のコールに応答できます。
 - グループピックアップ番号(システム管理者から取得)を使用します。
 - 呼び出し中の電話機の番号をダイヤルします。
- その他のピックアップ:自分のコール ピックアップ グループ内、または関連付け先コール ピック アップ グループ内の別の電話機で呼び出し中のコールに応答できます。

システム管理者はコール ピックアップ グループを設定し、コール処理のニーズおよび作業環境に基づいてコール ピックアップ ソフトキーを設定します。

システム管理者が短縮ダイヤルボタンに回線ステータスインジケータを設定した場合は、回線ステー タスインジケータを使用して、呼び出し中のコールを監視およびピックアップできます。回線ステー タスインジケータによって、短縮ダイヤルボタンと関連付けられた回線のステータス(アイドル状態、 使用中、サイレント状態、または呼び出し中)を確認できます。

関連項目

「回線ステータスインジケータ」(P.88)

ピックアップを使用したコールの応答

- ピックアップボタンを押して、自分のピックアップグループ内で呼び出し中のコールを自分の電 話機に転送します。
 回線が複数存在し、非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタン を押してからピックアップボタンを押します。
 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- コールの呼び出しに対して、[応答(Answer)]ソフトキーを押してコールに接続します。

グループ ピックアップとグループ ピックアップ番号を使用し たコールの応答

- グループ ピックアップ ボタンを押して、自分のピックアップ グループ外の電話機のコールに応答 します。
 回線が複数存在し、別の回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタンを押して からグループ ピックアップ ボタンを押します。
- 2. グループ ピックアップ番号を入力します。

電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。

3. コールの呼び出しに対して、[応答(Answer)]ソフトキーを押してコールに接続します。

グループ ピックアップと電話番号を使用したコールの応答

1. グループ ピックアップ ボタンを押します。

回線が複数存在し、非プライマリ回線のコールをピックアップする場合は、まず目的の回線ボタン を押してからグループ ピックアップ ボタンを押します。

- ピックアップしたいコールがある電話回線の番号を入力します。たとえば、コールが回線 12345 で呼び出し中の場合は、12345 を入力します。
 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- コールの呼び出しに対して、[応答(Answer)]ソフトキーを押してコールに接続します。

その他のピックアップを使用したコールの応答

- 他 Grp ボタンを押して、自分のピックアップ グループ内または関連付けられているグループ内の コールを、自分の電話機に転送します。
 電話機が自動ピックアップをサポートしている場合、コールに接続されます。
- 2. コールの呼び出しに対して、[応答(Answer)]ソフトキーを押してコールに接続します。

コール待機

コール待機を使用すると、他のコールに応答している時に新しいコールが自分の電話機で呼び出し中で あることが、次のような合図で通知されます。

- コール待機音(1回のビープ音)
- オレンジ色に点滅する回線ボタン

コール待機通知への応答

呼び出し中のコールに応答するには、オレンジに点滅しているセッションボタンを押すか、[応答 (Answer)]ソフトキーを押してコールに応答します。ナビゲーションパッドを使用して目的のコール まで画面をスクロールし、選択ボタンを押して応答することもできます。電話機によって元のコールが 自動的に保留され、呼び出し中のコールが接続されます。

- コールが別の回線にある場合は、まず回線ボタンまたはすべてのコールボタン(使用できる場合) を押して、呼び出し中のセッションを表示してからコールに応答します。
- コールが同一回線にあり、多数のコールがあるために表示されていない場合は、画面をスクロールしてそのセッションを表示する必要があります。
- システム管理者によってコールに応答するプログラム可能な機能ボタンが設定されている場合は、 コールの回線や現在表示されている回線に関係なく、その機能ボタンを押して呼び出し中のコール に応答できます。電話機は、自動的に回線を切り替え、コールを表示します。

会議

会議を使用すると、複数の通話相手と同時に会話できます。

あるコールで会話をしているとき、会議を使用して別の通話相手にダイヤルし、それらの通話相手をそのコールに追加します。

複数の電話回線がある場合は、交互に会議を使用して、2 つの回線をまたいで 2 つのコールを結合でき ます。たとえば、回線 1 に 1 つのコールがあり、回線 2 にも 1 つのコールがある場合、それらのコール を 1 つの会議に結合できます。

会議ホストとして、会議から個々の参加者を削除できます。すべての参加者が電話を切ると、会議は終 了します。

別の通話相手を自分のコールに追加して会議を作成する

- 1. 保留されていない接続済みコールから開始します。
- 2. 会議ボタン (学)を押し、次のいずれかを実行します。
 - 追加する通話相手の電話番号を入力し、[コール (Call)]ソフトキーを押します。
 - 短縮ダイヤルボタンを押します。
 - [短縮ダイヤル (Speed Dial)] ソフトキーを押し、短縮ダイヤル番号を入力し、もう一度[短縮ダイヤル (Speed Dial)] ソフトキーを押します。
 - [アクティブ コール (Active Calls)] ソフトキーを押し、コールを選択します。
 - 通話履歴からコールを選択します。
- 3. 参加者の応答を待ちます(またはコールの呼び出し中にステップ4に進みます)。
- 会議ボタンまたは [会議(Conference)] ソフトキーを押します。
 会議が開始されます。

必要に応じてこれらの手順を繰り返し、通話相手をさらに追加します。

会議でのコールの結合

- 1. 2つの接続済みコールから開始します。
- 2. 一方のコールがアクティブである(保留中でない)ことを確認します。両方のコールが保留中の場合は、一方のコールを再開します。
- 3. 会議ボタン 22 を押します。
- 4. もう1つの(保留中の)コールの回線ボタンを押します。

- 5. 保留されているコールが別の回線にある場合は、次の手順を実行します。
 - **a.** [アクティブ コール (Active Calls)] ソフトキーを押します。
 - **b.** リストからコールを選択します。
 - **c.** [会議 (Conference)] ソフトキーを押します。

会議が開始されます。会議はアクティブ コールのある回線に確立されます。

会議確立前のコールの切り替え

新しい会議参加者にコールした後、その参加者を会議に追加する前に[切替(Swap)]ソフトキーを押 して、2 つのコールを切り替えることができます。これによって、コールを結合して会議を作成する前 に、各コールで単独の通話相手または複数の通話相手と個別に相談できます。

会議参加者の表示

会議中に [詳細の表示 (Show Details)] ソフトキーを押して、参加者のリストを表示します。

会議参加者の削除

- **1.** 会議中に、[詳細の表示 (Show Details)] ソフトキーを押します。
- 2. 削除する参加者を強調表示してから、「削除(Remove)」ソフトキーを押します。

転送

転送機能を使用すると、アクティブ コールまたは呼び出し中のコールをボイスメール システムまたは 所定の電話番号(システム管理者により設定)に送信できます。

コールの転送

次のいずれかの方法でコールを転送します。

他のコールへの応答中に着信(呼び出し中の)コールをリダイレクトするには、ナビゲーション

パッド を使用して着信コールを強調表示し、[転送(Divert)]ソフトキーを押します (それ以外の場合は、[転送(Divert)]ソフトキーを押すと、現在のアクティブ コールがリダイレクトされます)。

- 通話中でないときに着信コールをリダイレクトするには、[転送 (Divert)] ソフトキーを押します。
- 保留中のコールをリダイレクトするには、まずコールを再開してから、[転送 (Divert)]ソフト キーを押します。

サイレント

サイレント オプションを使用して、次のいずれかをオフにできます。

- 電話機の呼出音
- 着信コールがあることを示す呼出音および視覚的な通知
 サイレントが有効である場合、着信コールはボイスメールなどの別の番号が設定されている場合は
 その番号に転送され、コールはコール履歴に保存されることも表示されることもありません。

サイレント機能は、電話のすべての回線に適用されますが、インターコムや 911 コールには影響しません。 デフォルトでは、電話機の回線ボタンのサイレント設定は、呼出音および視覚的な通知がオフの状態で 設定されます。ただし、[ユーザ オプション(User Options)] Web ページからサイレント オプション を変更できます。

関連項目

「ユーザオプション」(P.99)

サイレントのオンおよびオフ

- サイレントボタンを押して、サイレントをオンにします。
 視覚的な通知が一時的に表示されます。
- サイレントをオフにするには、もう一度ボタンを押します。
 視覚的な通知が一時的に表示されます。

Extension Mobility

Cisco Extension Mobility (EM; エクステンション モビリティ)を使用して、一時的に Cisco Unified IP Phone を独自に設定できます。EM にログインすると、電話機は電話回線、機能、設定されたサービス、Web ベースの設定など、ユーザ プロファイルを採用します。EM はシステム管理者が設定します。

Cisco Extension Mobility ChangePIN 機能を使用すると、Cisco Unified IP Phone から PIN を変更できます。

Extension Mobility の有効化

- **1.** アプリケーション ボタン 🔅 を押します。
- 2. [Extension Mobility]を選択します(名前は異なる場合があります)。
- 3. ユーザ ID と PIN (システム管理者から取得)を入力します。
- プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します (実行中のアプリケーションも[実行中のアプリケーション (Running Applications)]ウィンドウ に表示されます)。
- ログアウトするには、アプリケーションボタン (な) を押します。
- 6. [Extension Mobility] を選択します(名前は異なる場合があります)。
- 7. ログアウトするようにプロンプトが表示されたら、[はい(Yes)]ソフトキーを押します。

ファスト ダイヤル

ファスト ダイヤルを使用すると、電話機のファスト ダイヤル サービスから電話番号をダイヤルできま す。電話機のファスト ダイヤルを使用する前に、[ユーザ オプション(User Options)] Web ページで ファスト ダイヤルを設定する必要があります。

関連項目

「ファストダイヤル」(P.109)

ファスト ダイヤル ボタンを使用したコールの発信

(電話機でファスト ダイヤルを使用する前に、[ユーザ オプション (User Options)] Web ページでファ スト ダイヤルを設定する必要があります)

- 1. ファストダイヤルボタンを押します。
- 2. [パーソナル ディレクトリ (Personal Directory)] にログインします。
- **3.** [個人ファストダイヤル (Personal Fast Dials)]を選択します。
- 4. ファスト ダイヤル コードを選択して、[ダイヤル (Dial)] ソフトキーを押します。

保留

保留を使用すると、アクティブ コールを保留状態にできます。電話機では、一度に1つのアクティブ コールを保持でき、その他のコールは保留されます。

コールの保留および復帰

1. コールを保留にするには、保留ボタン 😢を押します。

保留アイコン (1) が表示され、回線ボタンが緑色に点滅します。

- 2. 強調表示されたコールを再開するには、次のいずれかを実行します。
 - 緑色に点滅しているセッションボタンを押す。
 - 電話機のディスプレイでコール セッションを押す(Cisco Unified IP Phone 9971 だけに適用)。
 - [復帰 (Resume)] ソフトキーを押す。
 - ナビゲーションパッドの選択ボタンを押す。

保留中のコールとアクティブ コールの切り替え

セッション ボタンを使用して、保留コールと接続コールを切り替えることができます。たとえば、保 留中のコールとアクティブなコールがある場合、保留中のコールのセッション ボタンを押すとその コールが再開され、他のコールは自動的に保留されます。

新しいコールに応答してコールを保留にする

すでに通話中の状態で新しいコールを受信する場合、新しいコールに応答すると、最初のコールは自動 的に保留されます。

新しいコールに応答するには、次の操作を実行します。

- オレンジに点滅しているセッションボタン、またはタッチスクリーンのセッションボタンを押します (Cisco Unified IP Phone 9971 だけに適用)。
- ナビゲーションパッドを使用して新しいコールに移動し、[応答(Answer)]ソフトキーまたは選 択ボタンを押します。

共有回線の保留中の確認

赤色に点滅している回線ボタンと保留アイコン **III** を確認します。これらのインジケータが表示されている場合、共有回線のコールは他のユーザによってリモートで保留にされています。

リモート回線の保留

保留復帰

保留復帰では、コールが保留中になったタイミングが通知されます。 保留復帰の通知には、新規コールの通知同様、次の合図が含まれます。

- 1回の呼出音(一定間隔で繰り返す)
- オレンジ色に点滅する回線ボタン
- 受話器上で点滅するメッセージ インジケータ
- 電話スクリーン上の視覚的な通知

保留復帰の通知への応答

オレンジ色に点滅している回線ボタンまたは[応答(Answer)]ソフトキーを押して、コールを保留状 態から復帰させます。

ハント グループ

ハント グループは、大量の着信コールがある組織のコールの負荷を共有するために使用します。 システム管理者はハント グループに一連の電話番号を設定します。ハント グループ内の最初の電話番号 が使用中の場合は、次に使用可能な番号がグループ内で検索され、その電話機にコールが転送されます。 ハント グループのメンバは、ハント グループにログインするとコールを受信できます。また、グルー プからログアウトすると呼出音が鳴らなくなります。

ハント グループへのログインとハントグループからのログア ウト

- ハント グループ ボタンを押してログインします。 視覚的な通知が一時的に表示されます。
- 2. もう一度ボタンを押してログアウトします。

ハント グループからログアウトしても、ハント グループ以外のコールは引き続き着信します。

インターコム

インターコムでは、専用またはダイヤル可能なインターコム回線を使用して、一方向のコールを送受信 できます。

インターコム コールを発信すると、受信者の電話機はミュートが有効(ウィスパー モード)になって 自動応答し、受信者のスピーカーフォンから(ヘッドセットまたは受話器を使用中の場合はそのいずれ かから)メッセージをブロードキャストします。

インターコム コールを受信すると、受信者は双方向オーディオ(*接続*モード)を開始して、会話を継 続できます。

専用インターコム コールを発信する

1. インターコム ボタンを押します。

受信者がインターコム コールを受け入れるまで、電話機はウィスパー モードになります。アク ティブ コールがある場合、そのコールは保留されます。

- 2. インターコムのアラートトーンが聞こえたら、通話を開始します。
- 3. インターコム ボタンを押してコールを終了します。

ダイヤル可能なインターコム コールを発信する

- **1.** インターコム ボタンを押します。
- インターコム コードを入力します。
 受信者がインターコム コールを受け入れるまで、電話機はウィスパー モードになります。アクティブ コールがある場合、そのコールは保留されます。
- **3.** インターコムのアラートトーンが聞こえたら、通話を開始します。
- 4. インターコム ボタンを押してコールを終了します。

インターコム コールの受信

- 電話スクリーンでメッセージを受信し、音声アラートが鳴ると、電話機はミュートが有効になり、 インターコムに応答します。次のいずれかの方法を使用してインターコム コールを処理できます。
 - インターコム発信者の声をウィスパーモードで聞く(実行中の現在のコールアクティビティは同時に継続されます)。ウィスパーモードでは、インターコム発信者にこちらの声は聞こえません。

- アクティブなインターコムボタンを押し、*接続*モードに切り替える。接続モードでは、イン ターコム発信者と会話ができます。
- 2. インターコム ボタンを押してコールを終了します。

回線ステータス

回線ステータス インジケータを使用して、短縮ダイヤル ボタンに関連付けられている電話回線の状態 を表示できます。

電話機の回線ステータス インジケータはシステム管理者が設定します。

回線ステータス インジケータ

回線ステータスインジケータは、回線の状態を示します。

アイコン	インジケータ
	回線は使用中です。
	回線はアイドルの状態です。
	回線は呼び出し中です (コール ピックアップ専用の状態)。
	回線はサイレント(DND)状態です。

システム管理者は、短縮ダイヤル ボタンに回線ステータス インジケータを設定し、次の機能と一緒に 使用できます。

- 短縮ダイヤル:短縮ダイヤルボタンに設定された番号のステータスを監視(またその番号にダイ ヤル)できます(監視対象の回線が使用できない場合、回線ステータスボタンは通常の短縮ダイ ヤルボタンに変わります)。
- ダイレクト コール パーク:短縮ダイヤル ボタンのダイレクト コール パーク番号の回線ステータス を監視(またその番号にダイヤル)できます。
- コール ピックアップ:短縮ダイヤル ボタンの呼び出し中のコールの回線ステータスを監視(また 呼び出し中のコールをピックアップ)できます。

システム管理者は、監視している回線でコールが呼び出し中の場合に、電話機が音声アラートを鳴 らすようにも設定できます。

関連項目

- 「コール パーク」 (P.76)
- 「コール ピックアップ」(P.78)
- 「短縮ダイヤル」(P.94)



Malicious Call Identification (MCID; 迷惑呼 ID)を使用すると、アクティブ コールを疑わしいコール として識別し、一連の自動トラッキングや通知メッセージを開始できます。

不審なコールのトレース

迷惑呼の発信者 ID ボタンを押して、サイレント通知メッセージをシステム管理者に送信します。 サイレント通知メッセージが送信されると、電話機では視覚的および音声通知の両方を確認できます。

ミートミー

ミートミーを使用すると、スケジュールした時刻に所定の番号へコールして会議を開催したり、会議に 参加したりできます。

会議は、ホストが接続すると開始されます。ホストが参加する前に会議にコールすると、参加者にはビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度ダイヤルする必要があります。

すべての参加者が切断すると会議は終了します。ホストが切断しても会議は自動的に終了しません。

ミートミー会議の開催

- 1. システム管理者からミートミー電話番号を取得します。
- 2. 参加者にミートミー電話番号を配布します。
- 会議を開始する準備ができたら、オフフックにしてダイヤルトーンを受信し、ミートミーボタン を押します。
- 4. ミートミー電話番号をダイヤルします。

ミートミー会議への参加

ミートミー会議番号(会議ホストから取得)をダイヤルします。

ビジー音が聞こえる場合は、ホストがまだ会議に参加していません。その場合は、もう一度発信し直す 必要があります。

モバイル コネクト

モバイル コネクトを設定すると、携帯電話を使用してデスクの電話番号にかかってきたコールを処理 できます。

モバイルコネクトを有効にした場合の動作は次のとおりです。

- デスクの電話機とリモート接続先(携帯電話)でコールを同時に受信します。
- デスクの電話機でコールに応答すると、リモート接続先の電話機の呼出音が止まってコールが切断 され、不在履歴メッセージが表示されます。
- 1つのリモート接続先でコールに応答すると、それ以外のリモート接続先とデスクの電話機では呼 出音が止まってコールが切断され、リモート接続先では不在履歴メッセージが表示されます。
- あるリモート接続先のコールに応答し、回線を共用する Cisco Unified デバイスにコールを切り替え た場合、同じ回線を共用する Cisco Unified デバイスには [リモートで使用中 (Remote In Use)]メッ セージが表示されます。

モバイル コネクトを設定するには、[ユーザ オプション(User Options)] Web ページを使用してリ モート接続先を設定し、特定の電話番号からのコールがリモート接続先に渡されるのを許可またはブ ロックするアクセス リストを作成します。

関連項目

- 「アクセス リストの作成」(P.112)
- 「新規リモート接続先の追加」(P.111)

デスクの電話機からすべてのリモート接続先へのモバイル コ ネクトをオンまたはオフする

- モビリティボタンを押して、リモート接続先の現在のステータス(有効または無効)を表示します。
- 2. 選択ボタンを押してステータスを変更します。
- 3. [終了 (Exit)] ソフトキーを押します。

関連項目

「新規リモート接続先の追加」(P.111)

進行中のコールをデスクの電話機から携帯電話に切り替える

- **1.** モビリティ ボタンを押します。
- 2. [携帯電話へコールを送信(Send call to mobile)]を選択します。
- 3. 進行中のコールに携帯電話で応答します。

デスクの電話の回線ボタンが赤に変わり、受話器アイコンと発信者の番号が電話機に表示されま す。他のコールには同じ電話回線を使用できません。ただし、デスクの電話機が複数の回線をサ ポートしている場合は、別の回線を使用してコールを発信および受信できます。

進行中のコールを携帯電話からデスクの電話機に切り替える

- 1. デスクの電話機の回線を選択します。
- 2. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- **3.** 5 ~ 10 秒以内にデスクの電話機の [復帰(Resume)] ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。

進行中のコールを携帯電話からデスクの電話機にハンドオフ する

- **1.** 携帯電話で話している場合、ハンドオフ機能のアクセス コード(例:*74)を押します。アクセス コードの一覧については、システム管理者にお問い合せください。
- 2. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。
- 10 秒以内にデスクの電話機の[応答(Answer)]ソフトキーを押して、デスクの電話機で会話を開始します。デスクの電話機のコールに応答するまでの秒数はシステム管理者が設定します。

同じ回線を共用する Cisco Unified デバイスには [リモートで使用中(Remote In Use)] メッセージが 表示されます。

ミュート

ミュートを使用すると、受話器、ヘッドセット、スピーカーフォンの音声入力をブロックできます。 コールの通話相手の声は聞こえますが、相手にこちらの声は聞こえません。

電話機のミュート

- ミュートボタン 2 を押して、ミュートをオンにします。 視覚的な通知が表示されます。
- 2. ミュートをオフにするには、もう一度ミュートボタンを押します。

オンフック ダイヤル

オンフック ダイヤルを使用すると、ダイヤル トーンを受信する前に電話番号を入力し、オフフックに してコールを接続できます。

オンフックでの電話番号のダイヤル

- 1. 電話番号を入力するか、短縮ダイヤルします。[オンフックダイヤル (On-Hook Dialing)] 画面が 表示されます。
- **2.** [コール (Call)]を押します。固定短縮ダイヤルを指定する場合は、短縮番号を入力し、[短縮ダ イヤル (Speed Dial)]を押します。
- **3.** 受話器を持ち上げるか、スピーカーフォンまたはヘッドセット ボタンを押します。

プライバシー

プライバシーを使用すると、回線を共有する他のユーザから自分のコール情報を隠すように設定できます。 プライバシーは、使用している電話機のすべての共有回線に適用されます。共有回線が複数存在し、プ ライバシーが有効になっている場合は、他のユーザはすべての共有回線を表示できません。

回線を共有している電話機でプライバシー機能が有効になっていても、共有回線を通常どおり使用して、コールを発信および受信できます。

関連項目

「共有回線」(P.93)

共有回線でのプライバシーの有効化

- プライバシーボタンを押して機能を有効にします。
 この機能が有効な場合は、電話スクリーンに視覚的な通知が表示されます。
- **2.** この機能をオフにするには、もう一度ボタンを押します。

Quality Reporting Tool (品質レポート ツール)

パフォーマンスに関する問題のトラブルシューティングに役立てるために、システム管理者により一時 的に、電話機に Quality Reporting Tool (QRT; 品質レポート ツール)が設定されることがあります。 設定に応じて、QRT は次の用途に使用します。

- 現在のコールの音声に関する問題をすぐにレポートします。
- カテゴリのリストから一般的な問題を選び、理由コードを選択します。

電話機の問題のレポート

- 1. 品質レポート ツール ボタンを押します。
- 発生した問題に最も近い項目を選択します (ナビゲーション パッドと選択ボタンを使用し、画面 をスクロールして選択します)。
- **3.** [選択 (Select)] ソフトキーを押します。 情報がシステム管理者に送信されます。

リダイヤル

リダイヤルでは、ボタンを押して最後にダイヤルした電話番号をコールできます。

リダイヤルする

[リダイヤル (Redial)] ソフトキーを押します。 特定の電話回線でコールを発信するには、その回線のダイヤル トーンを受信してから [リダイヤル (Redial)] ソフトキーを押します。

共有回線

共有回線を使用すると、1 つの電話番号を複数の電話機で使用できます。 同僚と回線を共有すると、次のようになります。

- 共有回線にコールが着信した場合
 - 自分の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅する。
 - 同僚の電話機が鳴り、回線ボタンがオレンジ色に点滅し、自分または同僚のいずれかがコール に応答できる。

- 共有回線で同僚がコールを受信している場合
 - 電話機の共有回線ボタンが赤色に点灯する。これは、その回線がリモートで使用されていることを示します。
 - さらに、同僚がプライバシー機能を有効にしていなければ、自分のスクリーンに同僚のコール が表示される。
- コールを保留にした場合
 - 自分の回線ボタンが緑色に点滅する。
 - 同僚の回線ボタンが赤色に点滅する。

回線が赤色で点滅している場合は、同僚がそのコールをピックアップできます。

割り込み機能を使用すると、自分または同僚が共有回線のコールに参加できる。割り込みによって、コールは会議に切り替えられます。割り込みを実行するには、リモートで使用中の共有回線のコールに対応する赤いセッションボタンを押します。

サイレント モニタリングと録音

サイレント モニタリングと録音機能を使用すると、必要に応じてコールを監視および録音できます。 この機能を有効にするのはシステム管理者です。全コールの自動録音、またはコールごとの録音を設定 できます。

ユーザは、コールのモニタリングおよび録音中、通知トーンを聞くことができます。デフォルトでは、 コールのモニタリングおよび録音(設定されている場合)を実行しているユーザに、通知トーンは聞こ えません。

詳細については、システム管理者にお問い合せください。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤル機能では、ボタンを l つ押すかコードを l つ入力するだけでコールを発信できます。電話 機で短縮ダイヤル ボタンを使用する前に、[ユーザ オプション(User Options)] Web ページで短縮ダ イヤルを設定する必要があります。

電話機は設定に応じて、次のような短縮ダイヤル機能をサポートできます。

 短縮ダイヤルボタン:短縮ダイヤル用に設定された1つ以上の回線ボタンから電話番号をすばや くダイヤルできます。

システム管理者が回線ステータス機能を設定している場合は、回線ステータスインジケータを使 用して短縮ダイヤル回線のステータスを監視できます。

短縮ダイヤルコード:コード(固定短縮ダイヤルとも呼ぶ)から電話番号をダイヤルできます。

関連項目

- 「Web での短縮ダイヤル」(P.103)
- 「回線ステータス インジケータ」(P.88)

短縮ダイヤル ボタンを使用したコールの発信

電話機で短縮ダイヤル ボタンを使用する前に、[ユーザ オプション(User Options)] Web ページで短 縮ダイヤルを設定する必要があります。

コールを発信するには、電話機の左側にある短縮ダイヤル ボタン 式 を押します。

短縮ダイヤル コードを使用したコールの発信

電話機で短縮ダイヤル コードを使用する前に、[ユーザ オプション(User Options)] Web ページで コードを設定する必要があります。

オンフックでの短縮ダイヤル コードの使用

短縮ダイヤル コードを入力し、[短縮ダイヤル (Speed Dial)] ソフトキーを押します。

オフフックでの短縮ダイヤル コードの使用

- 1. 受話器を持ち上げ、[短縮ダイヤル (Speed Dial)] ソフトキーを押します。
- 短縮ダイヤル コードを入力し、もう一度 [短縮ダイヤル (Speed Dial)] ソフトキーを押して、 コールを発信します。

転送

転送を使用すると、接続されているコールを自分の電話機から別の番号ヘリダイレクトできます。

- 1つのコールを指定した別の番号にリダイレクトできます。
- 1つの回線または2つの異なる回線にある2つのコールを(自分自身は回線上に留まることなく) 相互に接続することもできます。

転送手続きを完了する前に、リリースボタンまたは[キャンセル(Cancel)]ソフトキーを押すと、その転送をキャンセルできます。あるいは、[切替(Swap)]ソフトキーを押して複数のコールを切り替えて、それぞれの通話相手と個別に通話できます。

新しい番号へのコールの転送

- 1. アクティブ(保留中でない)コールから開始します。
- 2. 転送ボタン 2 を押し、次の操作のいずれかを実行して、転送先の電話番号を入力します。
 - 保留中のコールの緑色に点滅しているセッションボタン(右側)を押す。
 - 転送先の電話番号を入力する。
 - 通話履歴レコードまで画面をスクロールし、[コール (Call)]ソフトキーを押す。
 - 短縮ダイヤルボタンを押す。
 - [短縮ダイヤル (Speed Dial)] ソフトキーを押し、短縮ダイヤル番号を入力するか、コールす る番号を強調表示し、もう一度 [短縮ダイヤル (Speed Dial)] ソフトキーを押す。
 - [アクティブ コール (Active Calls)] ソフトキーを押し、保留中のコールを選択する (転送は すぐに完了します)。
- 転送ボタンまたは [転送(Transfer)] ソフトキーを押します。
 (転送を完了するのに、受信者の応答を待つ必要はありません)
 転送が完了します。

転送完了前のコールの切り替え

転送先と接続した後でコールをその通話相手に転送する前に、[切替(Swap)]ソフトキーを押して2つのコールを切り替えることができます。これによって、転送を完了する前に、各コールで通話相手と 個別に相談できます。

WebDialer

Cisco WebDialer を使用すると、Web ブラウザの項目を選択して、Cisco Unified IP Phone でディレクトリの連絡先にコールを発信できます。この機能はシステム管理者が設定します。

WebDialer と Cisco ディレクトリの使用

- **1.** [ユーザ オプション (User Options)] Web ページにログインします。
- 2. [ユーザオプション(User Options)]>[ディレクトリ(Directory)]を選択して同僚を検索します。
- 3. ダイヤルする番号を選択します。
- **4.** 初めて WebDialer を使用する場合は、[コールの開始(Make Call)]ページの設定を確認します。
- 5. [ダイヤル (Dial)]を選択します。

これで電話機からコールが発信されます。

6. コールを終了するには、[コールの終了(Hang up)]を選択するか、電話を切ります。

WebDialer と他のオンライン社内ディレクトリの使用

- 1. WebDialer 対応の社内ディレクトリにログインして、同僚を検索します。
- 2. ダイヤルする番号を選択します。
- 3. プロンプトが表示されたら、ユーザ ID とパスワードを入力します。
- **4.** 初めて WebDialer を使用する場合は、[コールの開始(Make Call)]ページの設定を確認します。
- [ダイヤル (Dial)]を選択します。
 これで電話機からコールが発信されます。
- 6. コールを終了するには、[コールの終了(Hang up)]を選択するか、電話を切ります。

WebDialerの初期設定、設定の表示、または設定の変更

- WebDialer を使用してコールを開始し、[コールの開始(Make Call)]ページにアクセスします。 [コールの開始(Make Call)]ページは、WebDialer を初めて使用するときに表示されます(ダイ ヤルする番号を選択した後)。
- 2. [コールの開始(Make Call)]ページから、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [優先する言語(Preferred language)]: WebDialer の設定およびプロンプトに使用する言語 を指定します。
 - [優先するデバイスを使用する(Use preferred device)]: WebDialer コールを発信するのに使用する Cisco Unified IP Phone ([コールに使用するデバイス(Calling device)]) と電話番号([コールに使用する回線(Calling line)])を識別します。1本の回線を持つ電話機を1台だけ使用している場合は、適切な電話機と回線が自動的に選択されます。それ以外の場合は、電話機または回線、あるいはその両方を選択します。同じタイプの電話機が複数台ある場合は、デバイスタイプとMAC アドレスで指定します(電話機に MAC アドレスを表示するには、アプリケーションボタン (こ)>[電話の情報(Phone Information)]を選択します)。

Extension Mobility プロファイルを持っている場合、[コールの開始(Make Call)]ページの[コールに使用するデバイス(Calling Device)]ドロップダウン メニューから [Extension Mobility] を選択できます。

- [コールの確認ダイアログを表示しない(Do not display call confirmation)]: これを選択すると、次に WebDialer を使用するときに WebDialer の[コールの開始(Make Call)]ページが表示されなくなります。Cisco ディレクトリから連絡先を選択すると、コールが自動的にダイヤルされます。
- [自動終了の無効化(Disable Auto Close)]: これを選択すると、コール ウィンドウが 15 秒 後に自動的に閉じられなくなります。

WebDialer からのログアウト